



福祉は人なり
―働き手への思い―

(一)
五月晴れのある日、「ケアセン
ターかたくりの花」の若者五人
と職員一人が、施設長の運転す
る車に乗って本部に到着しまし
た。摘んだばかりのいちごから
ジャムをつくり、出来立てほや
ほやのいちごジャムを持参して
くれたのです。
「はい、理事長にプレゼントし
ましょう」と言われても、全く無
頓着で、別の職員に手渡す青年
もいましたが、大笑いの中、に
ぎやかに贈呈式？を終わりました。
私たちは、さつそくクラッカー
の上にはいちごジャムを載せてい
ただきました。とてもおいし
かったです。
障害を持つ人々がこの特定の
日のことを覚えていたかどうか
は分かりませんが、笑ったり喜
んだりする機会が多ければ多い
ほど、一人一人元気になる自信



にもつながっていくことは確信
できます。

(二)
その後、私は機関紙六月号の
ビッグニュース(原稿案)を
チェックすることになったので
すが、偶然にも、かたくりの花
のビッグニュースを目にしまし
た。「5月16日、いちご摘み&ジャ
ムづくり」とあります。ああ、昨
年も、今年と同じ頃、同じこと
をしていたんだと気づかされま

発行
社会福祉法人 牧ノ原やまばと学園
〒421-0412 静岡県牧之原市
坂部 2151 番地 2
TEL:0548-29-0221 FAX:0548-29-0157
E-mail:honbu@yamabatogakuen.jp
http://www.yamabatogakuen.jp/
機関誌代は無料です。

した(昨年はジャムの贈呈はあ
りませんでした)。国内外の重大ニュースと違っ
て、当法人のビッグニュースは、
毎年、同じような内容が多いので
すが、しかし、それは平和な日々
が続いたことのあかしでもある
でしょう。ご利用者の転入・転出
管理者や職員の異動、クラスター
発生等々、様々のことがありま
したが、総じて無事に一年を終
えることができ、神様と皆様に
感謝しています。

(三)
現在、少子高齢化に伴う「人
手不足」はどこでも大きな課題
ですが、当法人でも近年は、外
国人の確保・育成に力を入れて
います。

目下、EPA生(インドネシア)
も含め六名の外国籍(フィリピ
ン、韓国、中国)の方が働いて
いて、夜勤もできる人が増えて
いるのは有難いことです。さら
に、七月からはミャンマー人女
性四名が、十二月にはEPA生
(インドネシア人女性)二人が就
任予定で、外国籍の方がさらに
増える見込み。ご本人にとつても
ご利用者や事業所にとつても、
「よかった」と言える出会いにな
るよう願っています。

(四)
ところで、育児や家族介護を

している人は多いですが、その
経験や努力を、福祉分野で無理
なく結実させる方法はないもの
でしょうか？

例えば、希望する人に対して、
専門家が時々介入して知識やス
キルを教える、／一定期間(例え
ば五年以上?) 育児や介護に従
事した者に対しては、実績を評
価し、適切な形で、専門的な学び・
実習の機会を与える、／介護等
の務めを終えた時には、保育士
受験資格や介護福祉士受験資格
看護師受験資格を与える、など。

そうすれば、子育てや介護の
モチベーションも上がり、その
技術・知識も向上するでしょう。
長年の汗と涙、貴重な働きが、そ
の後の社会参加のためにも活か
され、人手不足解消にも役立つ
：などと思うのですが、どうで
しょうか？

昔は見習い制度のようなもの
があり、歯科医の自宅で働きつ
つ、医師免許取得につなげるこ
とができたと聞いたことがあります。

良い働き人が求められている
昨今、決まり切ったコースでは
なく、多様な道が許容され資格
取得につながるとういなあと思
わされます。

〈理事長〉長沢道子

ビッグニュース(2023年4月~2024年3月)

法人全体

★大学新卒者の皆さん、5名入職(4月)

人材確保と育成のため、集中的・継続的な新人職員研修を実施。今後もフォローしていく予定。



★インドネシア・グミン教会の方々と交流(6月8日、9日)(11月6日~14日)

インドネシア・グミン教会・アリーナ議長他3名の方々ととの交流がきっかけで、11月には教会や福祉関係者計4名(長澤理事長含む)が、インドネシアのマナドを訪ね、教会が経営する病院や大学、施設等を視察し、大いに啓発されました。

★4年ぶりに恵泉女学園の皆さんが来園し、奉仕と交流(7月末~8月初め)

コロナのため中断していた活動を再開。聖ルカ、垂穂寮、真菜、かたくり、なのはなで計3日間、ご利用者と交流。施設内が笑顔に。



★EPA生確保のため、現地説明会へ(8月22日~25日)

現地(インドネシア)へ行った人は、本部から関根事務長、垂穂寮から田澤施設長、通訳兼里帰り、EPA生のセプティさん。この結果、2名の女性が当法人で働くことになりました。

★地域交流貢献事業としてカフェ祭りや食事提供など(7月、9月、12月、2~3月)

やまばとのご利用者も参加して、自主製品販売やカフェの開催。冬は、生活困窮世帯へ温かいランチなどを届けました。



★やまばと未来検討会で中長期計画を策定(9月)

前期の計画を継承する形で、「やまばと未来計画」を検討。月1回以上開催。主な計画として、事務部門の整理・統合/防災体制の充実/地域ニーズへの取組が出されました。

★島田市立養護老人ホーム「ぎんもくせい」の指定管理業務終了(年度末)

二期・10年間務めました。年度末をもって終わることに。次の委託先が決まったので、安心して引継ぐことができました。

★「特定技能-介護」生の受入れへ(9月、3月)

「特定技能-介護」の資格をもつミャンマー人女性計4名と面接し、内定。2024年7月からグレイスと聖ルカホームで働き始めます。

生活支援センター やまばと

★新施設長に大畑彰弘さん

大畑新施設長は、業務効率化に取組み、ラインワークスの利用を開始。

手書きの予定表は廃止され、スマホを使つてのスケジュール管理に。「連絡し易いし、便利になった」そうです。

★コロナ感染症予防のためのパーティションを除去

コロナ感染症が5類になったので、スタッフたちの間を区切っていたパーティションを外しました。お互いをささぎっていた物がなくなり、ぐっと快適な環境になりました。



★利用者さんが地域貢献事業に参加し活躍

法人が行う地域貢献事業に利用者さんが参加し、すすんで意見を言うなど、頼もしい姿が見られました。

★牧之原市や島田市の第4次障がい者計画・第7期障がい福祉計画策定に協力

自立支援協議会・市民ワークショップ等に生活支援センター相談員も関わり、地域課題について検討し、自治体の地域福祉計画策定のため協力しました。



ライフサポート さくらん

★「スマホの夜桜ヘルパーさんの思いやり」

これはご利用者が作った俳句。外出機会の少ないご利用者に、「夜桜」の写真を見せてあげたところ、この俳句ができ、広報誌にも掲載されました。ご本人も相談員も、とても嬉しかったです。

★2023年度は、新たに5名の登録ヘルパー

ヘルパー不足でしたが、当年度から仲間が増え、やりがいを感じ、はつらつと仕事をしています。



垂穂寮

★ようこそ、垂穂寮へ。

新しい施設長として、田澤岳大(たざわたけひろ)さんが就任。また、新卒スタッフとして天野佑月(あまのゆうづき)さんが仲間に加わりました。新風が吹いて、皆の笑顔が増えることを期待しています。



★重度障害者(強度行動障害)支援加算の活用(6月～)

「強度行動障害支援者養成研修」の修了者がサービスを提供した時加算される制度があり、順次研修に参加しました。6月から11名の利用者様の支援手順書を作成することから始め、かなりの収入アップに寄与しました。

★垂穂寮改革委員会は、運営委員会と改名して活動

A～Dのグループに分かれて改善すべきことを検討。清掃業者の委託やユニフォーム作成など、各グループで提案し、具体化しました。「電子錠」は鍵開閉の手間を減らし、業務を円滑化するため取り付けられたもの。大好評です。



★20代の若い2人が入所

ロングショートしていたKさんと、新規ショートステイを始めたMさんが入所。お二人とも若いので、ご利用者の平均年齢をぐっと下げました。いつもパワーをもらっています。

★三つの大きな行事を満喫(10月、12月、1月)

ご家族は参加しない形でしたが、10月に秋祭り、12月にクリスマス会、1月に新年会と、皆で大いに楽しみました。10名のご利用者が還暦を迎え、ご家族から温かい手紙をもらって感動しました。皆様、いつまでもお元気で!!!



デイサービスセンター 真菜

★花ももや聖ルカとの交流が増えました!

三つの施設が近くなったので、花ももの納涼祭でゲームを担当したり、聖ルカのカフェや餅つきにお誘いいただいたり、真菜のかき氷&大福引大会にお招きしたり、楽しい交流が増えました。



★真菜芸術祭(11月)

ご利用者の日々の作品、習字や塗り絵を、真菜のホールに展示。ご利用者お一人お一人が、「優秀作品」を選んで、投票、後日表彰しました。選ばれた方はとても嬉しそうでした。

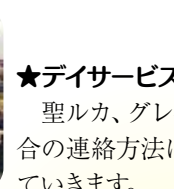


★2名のご利用者が100歳に!祝ご長寿!

お二人とも、物静かで優しい方。100歳になっても「何にも変わらんよ」と笑顔で仰っていました。真菜からはお二人をイメージした、お花の寄せ植えをプレゼント。おめでとうございます!

★石雲院へ初詣(2024年1月)

安定した足取りで階段をのぼり、しっかりと参拝。日頃の真菜での歩行運動と、努力の賜物です!



★デイサービスセンターすずらんと合同で介護者のつどい(2024年1月)

聖ルカ、グレイスを見学し、その後、防災について話し合い、施設利用中や送迎中に被災した場合の連絡方法は…等々、参加された方々より貴重な意見をたくさんいただきました。非常時に備えていきます。

ケアセンター 花もも

★女性ご利用者Y様、成人式のお祝い(9月)

ご家族にも出席していただき、思い出のビデオを上映。Yさんの大好きな『はらぺこあおむし』を、ご利用者とスタッフ一同で上演し、拍手喝采。



★4年ぶりにご家族を招いてクリスマス会(12月)

「さざんか」から「花もも」に改名して2年。コロナ5類への移行もあり、今回はご家族と共に祝会。劇団花ももの演劇『大きなかぶ』を発表し、ティータイムでは楽しいひと時を過ごしました。



★初の試み、スイーツバイキング(2月)

ホールのテーブルに20種類近くのスイーツや数種類のドリンクを用意し、ご利用者の皆さんに自由に選んで食べていただきました。初のイベントでしたが、皆さん、大満足の様子でした。



ケアセンターかたくりの花

★いちご摘み & ジャムづくり(5月16日)

ヘタがついたまま口に入れる人、おちょぼ口で少しずつ食べる人、不思議そうに真赤な苺を見つめたままの人など、様々。午後は、ジャム作りをしました。微笑みながら苺を切っている早紀さんからは、「早く出来ないかな?」との心の声が聞こえてきます。



★どしゃぶりの個別外出でも「あ〜満足!」(5月19日)

「あささわふるさと公園」に着くと、みんな雨など気にせず、笑顔で降車。食堂で日替わりランチを購入。賢一さんは、のどが詰まりそうな速さで完食。食後のソフトクリームを自分で選び、夢中で食べ、大満足の笑顔でした。



★防災訓練を兼ねた、かたくりピック(9月22日)

防災頭巾を被って障害物を避けながらくねくね歩き、細〜い筒くぐり。最後はお楽しみのパンを取ってゴール!! 職員も本気になって競走し、大盛り上がりでした。



★勤労感謝の「感謝の会」で、皆さんに、ありがとう!(11月23日)

今年は、本部のスタッフの皆さん、健康診断でお世話になる田口先生、音楽活動に来てくれる久世先生、リフレクソロジーの澤脇先生、お庭をきれいにしてくれる岩本造園さん、スイカを作ってくれたたけおさん、散歩中に優しく声を掛けてくれるじゅん子さんに、お礼状と感謝を伝えました。代表で澤脇先生にお礼状を渡した茜さんは、先生からも「ありがとう」と言われ、笑顔になっていました。



★久しぶりに保護者をお迎えして、クリスマス会(12月15日)

楽器演奏は、練習通りにできない場面もありましたが、お客様の前でやり切った達成感はやっぱり格別。みんな力一杯大きな音で演奏しました。最後は、保護者も鈴やタンバリン、ハンドドラムなどを持って、全員で「ジングルベル」を演奏しました。



島田市立養護老人ホーム

ぎんもくせい

★地元商工会さまからいただいたたくさんのお手玉で、ゲーム

食堂の片隅でワイワイガヤガヤ。お手玉を山に積んで、棒倒しゲームがスタート。棒が傾くたびに大きな歓声があがり、おおいに盛り上がりました。



★希望の多かった100円ショップへ買い物ツアー

ゆっくり買い物をしていただく予定でしたが、お店に入るやいなや、普段はゆっくり歩く方も猛スピードで店内を移動され、付き添った職員は汗だくでした。会話ははずみました。



★隣接する地元施設でのお祭りに作品を出展

ぎんもくせいからも多くの利用者さんと職員が参加し、作品を見学。その後は、花より団子! とばかりに、ポップコーンやフランクフルトなどの出店へ直行。地元特産の自然薯や川魚の姿焼きなどもあり、見て回るだけでも楽しいお祭りでした。



★3月31日でお別れ。皆さん、これからも喜び多い日々でありますように!

10年間の交わりに感謝しています。御多幸を祈っています。

居宅介護支援事業所 シャローム

★受付カウンターにご利用者が作った手芸作品を展示

せっかく作った作品ですから、多くの方々に見て頂けるようにしました。もちろん展示した作品は写真にしてご利用者にプレゼント。喜んでおられました。



★自己研鑽で支援の質を向上(2024年3月)

コロナが5類になり、グランシップ静岡での福祉用具研修会に参加。zoomではなく、実際に見て、聞いて、触っての学びはとて有益です。これからもご利用者支援のために活かしていきます。

みぎわ(グループホーム)

★みぎわ駐車場で消防署立ち合いの消火訓練(5月20日)

ご利用者4名、島田消防署の方複数名、職員4名が参加。コーンを出火場所として、消火器の使用手順を確認しながら訓練。消防署の方がご利用者に付き添ってくださり、丁寧に教えてくださいました。



★島田の河川敷へお花見に(4月8日)

ご利用者4名、職員1名でドライブしながらお花見に。葉桜になり始めていましたが、天気は快晴で気持ちの良いお花見でした。ご利用者の切なる希望に応えたものです。



★みぎわ玄関にて、節分(2月3日)

ご利用者7名、職員2名で、豆まき。大声で「鬼は外!福は内!」と、豆をまき、コロナ、インフルエンザに負けない一年になるよう、皆で願いました。



★みぎわの食堂で、クリスマス昼食会(12月24日)

ご利用者9名、職員3名が参加。ファミリーレストランのテイクアウトメニュー、ケーキなどを食べ、サンタの衣装を着た職員と写真撮影も行なって、楽しみました。



★あおば棟の廃止(12月26日~3月18日)

12月に小杉さんが高齢者施設へ、2月にはAさんが一般アパートへ転居。そして、3月にはBさんとCさんが他法人のグループホームへ転居され、さびしくなりました。「みぎわ(ホーム)」に併設されたあおば棟は閉鎖する予定で、4月からは、定員15名から10名の「みぎわ」となります。



わかば・もくれん

★毎月第一日曜日に吉田港海岸の清掃に参加(4月9日)

主催者のLove continuesと一緒に、ご利用者&職員が、大小様々なゴミを拾い集めました。作業後の一杯が最高!



★もくれんの裏庭で、恒例のB・B・Qパーティ(6月24日)

今回はご家族にも声かけし、例年よりもにぎやか。ふだん食べる機会の少ないメニューも鉄板で焼かれ、参加者全員が料理に舌鼓を打ちました。



★わかばのリビングでスイカ割(8月13日)

きっかけは、世話人さんがまるまるとしたスイカを持って来たこと。ご利用者全員がスイカに挑むも、なかなか割ることが出来ず、結局は包丁でサクッリ!! 皆さん、うれしそうに食べていました。



★もくれんで最大のイベント、ビュッフェパーティー!!(12月17日)

テーブルに並べられた数々の料理に興味津々。「いただきます」の合図とともに目当ての料理へ一直線。食べ過ぎてお目当てのデザートを目の前にして、ギブアップする方もいました。



★ぼくらのアニキ。さようなら…。ありがとう…。(3月26日)

早朝、村松和美さんの居室を支援者が訪れると、いつもと違う場所で横になっていました。僕たちのアニキは、53才で旅立ってしまいました。ムードメーカーにしてリーダー。いつまでも、アニキのことを忘れることはないでしょう。ありがとう。

診療所

★オンライン資格確認システムの導入!

全国の医療機関が、保険証のマイナンバーカード化を進める中、当診療所でもマイナンバーの読み込み装置を導入。「オンライン資格確認システム」がスムーズに進展することを願っています。



ケアセンターマーガレット

★コロナは明け、日帰り旅行へ(11月10日)

行き先は、浜松うなぎパイファクトリー。

あいにくの雨でしたが、小さなトラブルすらも楽しみながら、無事に旅を終了。マーガレットにお迎えに来てくれたご家族に自分が買ったお土産を見せ、嬉しそうにしているご利用者もいました。



★2023年度より、「いまどきの買い物体験」

「マーガレットで使うもの」をテーマに、担当スタッフと一緒に行き先や何を買うか考えます。店で商品を選択、カゴに入れ、会計するまでの一連の流れを体験。今のお店は、セルフレジが多く、店員さんと触れ合う機会がないのは残念ですが、今時のやり方を体感出来たのは、収穫でした。

★2023年度は、ボランティアさんに恵まれました

夏祭りのかき氷や、マジックショー、たい焼きなど、ボランティアの皆さんのおかげで、ご利用者は楽しい思い出を作ることができました。感謝です。



ケアセンター野ばら

★かわいい犬さんたち9匹の訪問(6月29日)

動物ふれあい訪問の皆様が来てくれました。しばらくすると・・・、あれ?さっきまで機嫌が悪かったご利用者が、穏やかな表情で笑ってる!あのご利用者も、このご利用者も!!!動物たちの癒しの力をつくづく実感したことでした。

★4年振りにバス旅行(9月8日)

目的地は、富士サファリパーク。バスに乗ったまま、ゆったり

動物たちを楽しんでくることが出来ました。

★野ばらの秋祭りに、サクソ奏者「依田隆さん」のコンサート

ご利用者が日頃から慣れ親しんでいる曲や、今流行りの曲、その他色々な曲調のメロディーに、元氣をもらったり、癒しをもらったりしました。

★知的障害者福祉協会開催の愛護ギャラリー展で、金賞や銀賞を受賞(12月)

野ばらの絵画教室所属の5名の画伯が展覧。飯塚達人様の「ねこの親子」が静岡市長賞【金賞】を受賞。蓮池秀一様の「ふくろう」が県作業所連合会・わ理事長賞【銀賞】を受賞。画伯たちの日々の努力に対し、ご利用者と職員全員でお祝いしました。



動物たちを楽しんでくることが出来ました。



ワークセンター希望の家

★仲間が2名増えました☆(5月、6月)

5月に岡平純一郎さん、6月に池田剛留さんが新しく仲間入り。岡平さんはグループホームへの入居に合わせて「ふれあい」から「希望の家」へ転入した方。池田さんは集中して作業に取り組む方で、頼もしい仲間です。

★赤い羽根共同募金による送迎車の取得(8月10日)

助成金を頂き、送迎車を新しく購入できました!乗り降りしやすいようグリップやオートサイドステップが搭載されていて、好評です。

★ご家族もお招きして、中川大輝さんの20歳のお祝い(2024年1月15日)

ご利用者と職員全員からお祝いの言葉を送り、ご本人からは「二十歳の抱負。」成長に寄り添えることを本当に嬉しく思います。

★ボッチャ大会を計4回開催

「チームワーク」を高めることを目的としたボッチャ大会です。ご利用者が4チームに分かれ、熱戦を繰り広げました。円陣を組んだり他のチームの応援もしたり、そして、ボッチャの腕も上がっています☆



ワークセンターさくら

★お昼休みにゲームを始めました(6月26日)

お昼休みの楽しさを求めて、みんなで話し合い、パズル、トランプ、カーリングゲーム等々を購入し、いくつかのグループに分かれて実体験しました。今では、ご利用者の昼休みの楽しみが増えています。



★作業が増えました(3月)

鰻のタレ2袋を1つに小袋に入れてシーラーで止めるという作業を、大村醤油さんから大量にいただいたので、普段違う仕事をしている方もこの作業に入り、みんなががんばりました。これからも協力していきます。

★村松和美さん、ありがとう

新やまばと学園や、やまばと希望寮で長く過ごし、ワークセンターさくらが出来てからは、ずっと通ってくれた村松和美さんが、ご逝去。洗濯ばさみの先端にある滑り止めに固定する作業が得意で、名人級でした。人懐っこい笑顔は忘れられません。ありがとう。



コミュニティセンターぶどうの木

★「この時期、タコは元気の源」ときき、たこ焼きパーティー(7月12日)

材料を切ったり、混ぜたり、竹串で丸めたりしました。楽しかったので、自宅でも作ったそうです。



★うみえーる焼津にお出掛け(10月18日)

焼津市役所前の足湯に浸かって血行促進。一緒に浸かっている地域の方とも交流。海鮮丼の食事や買い物、公園の散歩などリフレッシュの時となりました。



★言葉が出にくいYさんのため、あえて「月1回5分間スピーチ」をお願い

話をする事で、口腔機能の改善につながり、何を話そうかと考えるので、認知症予防にもなります。海外旅行や仕事の経験も長いYさんの話は、他のご利用者にも良い刺激になっています。



★防災訓練、25m離れた緊急避難場所へ徒歩で移動(11月24日)

手すりなど、環境が整っていない道路もあり、避難時の課題を把握する機会となりました。

★法人内外の4事業所が共催し、介護講座、全7回(11月~2月)

頑張りすぎない介護をするコツや、自分に合った介護方法のを見つけ方、そして、介護保険制度や認知症等についても学び、在宅介護の悩みを共有しつつ、お茶を飲んで歓談しました。



ワークセンターふれあい

★家山八幡宮へ初詣(2024年1月12日)

幾つかのグループに分かれて、川根町の家山八幡宮へ今年の抱負やお願い事をしましたが、・・藤田さんは「宝くじが当たりますように」・・と願ったところ、4月に本当に宝くじに当選!びっくりしたり、喜んだり。ー



★施設外壁塗装でリニューアル(2月~3月)

建設後13年経過し、外壁塗装のサビ等が目立ってきたので、ペンキ塗りを行いました。足場で囲まれて1ヶ月間、・・・3月7日ピカピカの綺麗な施設に生まれ変わりました。

★地域の方へ感謝(3月21日)

施設長とご利用者さんが、周辺地域のお宅34軒を訪問。「ご利用者手作りの雑巾と保護者さんが製作したエコバック」を手渡し、日頃の感謝を直接お伝えしました。「毎年ありがとう!」と言われ、励みになりました。



相寿園

★釣りもいいけど買い物も楽し(11月、誕生月外出の日)

ご利用者のMさんは釣りが大好きで、時々施設長と一緒に御前崎港の岸壁に釣りに出かけます。今回も釣りかと思いきや、珍しくスーパーへ。たくさんの甘いものを前にして、目移りしていました。



★101歳の書初め(2024年1月)

相寿園在籍20年5カ月、最高齢者101歳の大石さんが、力強い筆跡で「はつゆめ」と書きました。はて、101歳の初夢とは、どんな夢でしょう?

★近くの料理屋さんで、久しぶりの新年食事会(1月)

この日ばかりはデイサービスを休んでも参加する人、少々眠くても参加する人等々、最終的には全員参加のもとに盛大に開催。料理は、皆さんの要望に応じて「刺身」と「天ぷら」。和気あいあい、笑顔のうちに会を終えました。直後にある利用者さんから「園長、贅沢は言わない。こんな食事会を年に2~3回ぐらいはやってくれよ」との要望。実は今回の新年食事会、赤い羽根共同募金会の援助があったからこそで、心から感謝です。



★初春の園内散歩(2月)

定期的な「園内散歩の日」ですが、珍しく暖かい日でした。正月明けから咲き出した菜の花が、相寿園の回りあちこちで咲き誇り、いち早く春を感じさせてくれました。

ワークセンターコスモス

★新施設長に森山規子さん(5月)

創立43年目の当年、予期しなかった管理者人事がありました。新施設長のもと、つつがなく一年を終えることができ、感謝しています。

★放課後デイサービス「ひまわり」と交流、にぎやかな夏祭り(7月28日)

かき氷では、好きなシロップを選び、何回もお代わりする人も。その他、ヨーヨーやミニゲームのボール投げ等々、ボランティアさんの協力もあって大盛り上がり。



★島田警察署の皆様による防犯講座(1月26日)

今回は、「作業中、突然不審者が入ってきたら!?どうする?」という設定。『さすまた』を使って奮闘する職員に対し、ご利用者から「頑張れー」の声も。最後に本物の警察手帳を見せてもらって「刑事ドラマの物と一緒にだー」と目を輝かせていました。



ワークセンターカサブランカ

★事務室のレイアウト変更と相談室の設置(7月)

事務室の配置換えをし、パートスタッフの場所を確保。同時に、相談室兼倉庫兼女性更衣室だった狭い部屋を新しく相談室にしました。

★ご利用者11名、職員4名が焼肉店で納涼食事会(8月17日)

カサブランカでは7月中旬~9月下旬が最も忙しく、この時期はほとんど休まず、毎日残業をして、資源ごみの分別、選別に精を出します。食事会は、この繁忙期を元気に乗り切るための集い。久しぶりにみんなでワイワイ楽しい時間でした。



★ご利用者(O・Tさん)が一般就職(10月18日)

O・Tさんは金谷小学校第一放課後児童クラブ補助職員として一般就労しました(現在も就労中)。午後1時から6時までの間に、環境整備だけでなく、小1から小4までの子どもたち50名の見守り。一緒に遊んだり、宿題を見てあげたりと頑張っています。悩むこともあるようですが、子どもたちから「O先生~」と呼ばれ、慕われています。「がんばれO先生!!!」

★圏域内の企業で就業体験(2024年2月19日~23日)

「しごと体験『輝きウイーク』」が開催され、7名のご利用者が、希望する企業で仕事を体験。(通常は就職を前提にした時しか実習できません。)職員も同行し、企業側の障害者雇用に対する熱い思いを知り、改めて、利用者の一般就労への支援に力を入れたいと思ったことでした。



ワークセンターなのはな

★4名のご利用者が、生活介護事業所へ転出(前年度~当年度初)

グループホーム入居に伴う移動等、いろいろな理由

からですが、長く共に働いた仲間との別れはさびしいものです。

★静岡市にある(株)富良食品の工場を見学(11月3日)

納豆や蒸しパンの製造過程を間近で見学。障害者が働いている姿も見ることができました。「ここで働きたい」「私もできそう」などの声もあり、モチベーションアップにつながりました。

★グループに分かれて、昼食づくり(3月29日)

「自宅で、1人でできる献立」をテーマに、計画・買い物から調理まで、自分たちでやりました。包丁を使って野菜を切る人、デザートをまぜる人など、めいめいが手分けをして料理を完成。全員が、「美味しい」と言い、満面の笑みでした。



グレイス

★コロナが5類へ移行し、面会制限全面解除(5月)

ガラス越しでの面会から、居室での対面が可能になりました。久しぶりに顔を合わせてうれしそうでした。

★にぎやかな芸能祭(9月21日)

焼きそば・チョコバナナ、法被姿、ゲームコーナー、輪投げ・的あて、お絵かきクイズ、踊り、榛原太鼓で特色づけられるにぎやかなお祭りでした。

★ご利用者、職員、ボランティアによる楽笑会(2024年1月18日)

ご利用者の対抗カラオケ大会、職員の獅子舞や羽子板、さくら会さまによるサザエさんダンス等、笑いあふれる会となりました。

★Wi-Fi設備整備(2月下旬~3月)

グレイスのICT化の第一歩。今では、リビングのTVを使って体操し、時代劇・演歌等を楽しむことができます。

★28年10ヶ月勤務された山脇世津子施設長、退職(年度末)

山脇さんは、1995年に聖ルカホームに入職され、居宅介護支援事業所所長、デイサービスセンター施設長等を歴任されました。行き届いたお働きに対し、心から感謝いたします。



やまばと希望寮

★大畑彰弘さんが、新施設長に。

生活支援センターの所長でもあるので、あちこち歩き回っています。

★毎月1回、松浦先生の音楽教室

第3火曜日になると、希望寮ホールには歌とピアノが響きます。利用者さんたちは音楽が大好き。職員も一緒になって歌っています。

★エスパルスVSいわきFCのサッカー観戦(5月7日)

あいにくの雨でしたが、ご利用者2名は一生懸命応援。そして、みごと！エスパルスが勝利しました！

★箱根で水陸両用バスに乗り、水族館も見物(7月14日)

Bケースのご利用者たちは、芦ノ湖の上でキャーキャー叫び、箱根園水族館では目を皿のようにして魚たちを観察しました。

★酢飯が大の苦手だったYさんがなぜか急に食べられるように！

大晦日のいなり寿司はかわりし、節分の太巻きやひな祭りのちらし寿司はたいらげただけでなく、もっと食べたような反応でした。なぜなんだろう？ふしぎ、ふしぎ。

★オレンジマラソン大会の100m走で、Mさんが1着に。(11月15日)

場所は、草薙陸上運動場。位置について、よ~い!どんっ!の合図。...あっという間に、Mさんが1着に！晴れ晴れた表情は忘れられません。



ワークセンターやまばと

★2人の新しい施設長を迎えました。(4月~7月)

4月に就任した榛地裕子さんが退職、鈴木千春さんを迎えました。いろいろなことがありましたが、新施設長のもと、皆、平和に元気に働いています。

★新しい下請け作業が入る(4月)

ワークセンターあさがおの紹介で吉田町内の石原水産様から、製品の食料品を入れるビニール袋にシールを貼る作業をいただきました。シール貼りを喜んでいるご利用者もいます。



★島田市の大津農村環境改善センター開催のまつりに出店(11月5日)

ご利用者と職員、垂穂寮職員も参加し、自主製品のパンやサブレ、フィナンセ等の焼き菓子を完売。販売を通して、ご利用者の意欲の向上、喜び、やりがいが生まれています。

★山梨まで久しぶりのバス旅行(12月1日)

ご利用者全員が車中でカラオケを楽しみ、モザイクタイルアートミュージアムではモザイク制作に挑みました。

★恒例の秋のミカン狩り!!(12月20日)

毎年、牧之原市坂口の大関様が、青島ミカン畑のミカン狩りに招待して下さいます。みんな、一人一人のビニール袋が一杯になるまで喜んで収穫します。ありがたい地域交流です。

★東名高速道路下り線の牧之原サービスエリアで「フィナンセ」の卸販売(2024年2月2日)

わたしたちの製品、蜂蜜入りでしっとりとした食感の焼き菓子「フィナンセ」がサービスエリアで販売され始めました。うれしいです。



ワークセンターあさがお

★高松祐輔さんに代わって、石神知之さんが施設長に(5月)

石神施設長の言葉「予期しなかった人事ですが、チームワークの良いスタッフさん達に助けられています」



★笑いヨガと体操教室(6月~)

第2火曜日14時から「偶数月は笑いヨガ」、「奇数月は体操教室」を始めました。自治会の協力を得て地域にもチラシを配り参加を呼びかけました。

★数年ぶりに七夕やハロウィン等、季節の行事を開催

誰でも参加できる内容とし、ゲームや創作活動、デザート作り、ハンバーガー作り等を楽しみました。



★朝霧方面へバス旅行

当日は、柔らかな日差しの絶好の天気、雄大な富士山を背景に写真を撮り、工場見学もできました。見学先の工場でもこの時期にこんな晴天は無いと言われ、正に奇跡の1日でした。(翌日は荒れた天気でした)。

★1年の活動をねぎらう慰労会(3月末)

ビンゴゲームを行い、読み上げる数字に一喜一憂。景品をゲットし、大いに盛り上がりました。昼食は事前に皆さんが選んだ「丼丸」のお弁当。



地域活動支援センターレタスクラブ

★国土交通省中部地方整備局から、表彰(7月27日)

長年海岸や河川を清掃し続けたことが評価され、感謝状をいただきました。



★静岡へ、東名バスに乗って買い物に(5月8日)

フェアトレード(途上国の人々の生活を助けるしくみ)ショップでコーヒーを買ったり、外国の品物や珍しいものを、みなワクワクして買っていました。

★全国障害者スポーツ大会(10月28日~30日)

ご利用者5名、職員3名、ボランティア1名が出し物「箱の中身はなんだろう?」クイズと「手話付の歌」を披露。クイズでは、指名されたご利用者が手を入れてしばらく沈黙しましたが、次々と当てていき、拍手喝采。手話の歌は、「愛は勝つ」。前に出て踊り出すご利用者もいて、にぎやかな集いになりました。



デイサービスセンター すずらん

★中庭の梅が、梅ジュースに(5月下旬)

たくさんの梅から梅ジュースを作りました。昔の記憶が呼び戻され、手際よく処理をする人も。その後、皆さんは毎日のように瓶を眺めていましたが、ようやく完成し、美味しくいただきました。



★一面に広がるひまわり畑でリラックス(9月)

坂部にひまわり畑があるとの情報をキャッチ、ご利用者と職員が見学に出かけました。ひまわり畑の雄大さに心をうばわれ、笑顔の花が咲きました。



★法人防災訓練の日、津波避難タワーへ(11月24日)

「送迎中に被災」との想定で津波避難タワーに登ってみました。実際に災害にあつたら、一人ではなく地域の皆さんの協力が必要と感じ、日ごろからの地域との関わりが大事だと実感しました。



★炊飯器でオムライスづくり(11月25日)

ご利用者は食材を切るころからお手伝い。炊飯器でオムライスができるのかしら?美味しいの?と心配していましたが、見た目は立派なオムライス、お味も満点でした。



★デイケアセンター真菜と合同で介護者の集いを開催(2024年2月4日)

聖ルカホームや真菜、すずらんを見学し、その後、事業所の防災の取組や日頃の悩み等について話し合い。能登地震の記憶が新しいこともあり、災害時の行動について真剣に考えました。



聖ルカホーム

★大学新卒者3名着任(4月1日)

新卒者採用が難しい中、夢や希望を持って若い職員が入ったことはとても嬉しいことでした。ご利用者とのふれあい、先輩職員の指導、研修などを通して、1年後には大きく成長しました。もちろん本人たちの努力あつてのことですが・・・



★4年ぶりにご家族を招待して、クリスマス会(12月14日)

聖ルカホームの目指している『利用者・家族・職員に笑顔の花を咲かせたい』が実現できたひとときでした。地域の皆様による「スィング・スロープ・オーケストラ」の演奏が、一段と会を盛り上げてくれました。

★クリスマス会に合わせ、フラワーアレンジコンテスト(12月14日)

ユニット毎に思い思いにお花を飾り、ロビーを華やかに飾る事ができました。ご家族の投票によって、最優秀作品1点と優秀作品2点を選び表彰いたしました。



★ショートステイユニットに入浴補助機器を導入(2024年2月)

県の補助金を活用し、入浴補助機器を導入。これにより、「安心して入浴でき」「介護員の負担を軽減し腰痛予防にもなる」というメリットを期待できます。



★有資格者や専門研修終了者が増加

当年度は、介護福祉士2名、認知症介護実践者2名、認知症介護実践リーダー1名、ユニットケアリーダー2名が実現しました。その他にも、多くの研修会に参加し、「根拠あるケア」ができるよう取り組みました。

牧之原市地域包括支援センター オリーブ

★変わった経歴の持ち主が相談員になりました!

名は、河邊尚登さん。なんと50歳代。とにかく変わった経歴の持ち主です。若い頃に美容師の免許を取得し、大都会横浜で美容室を開業。ところが何を思ったか、静岡県は龍山村の森林組合にもぐり込み、現場作業員として肉体酷使の林業に従事。そしてまたまた何を思ったか、次は掛川市内のB型作業所の職業指導員として変貌を遂げ、そして2023年9月には、当オリーブにたどり着いた次第。この他、フォークリフトに移動式クレーン車の運転免許を持ち、現在活用中の社会福祉士に精神保健福祉士の資格も持っているの、どんな難解な相談もOKというまれな人物に違いありません。乞うご期待。



★最新の安全機能を備えた新車が入りました(2024年3月)

私たちにとって、ご高齢者のお宅や各事業所様を訪問することは、最も大切な仕事の一つです。今回、新車が入りましたので、安全運転に一層心がけ、笑顔で皆様の元をお訪ねする予定です。

牧ノ原やまばと学園 事業所所在地 一覧 (2024年4月1日現在)

- 法人本部**
 - 1 牧ノ原やまばと学園本部
- 障害者支援施設**
 - 2 垂穂寮
 - 3 やまばと希望寮
- 養護老人ホーム**
 - 4 相寿園
- 特別養護老人ホーム**
 - 5 聖ルカホーム
 - 6 グレイス
- 通所介護(高齢者施設)**
 - 7 デイサービスセンター真葉
 - 8 デイサービスセンターさずらん
- 介護予防拠点施設**
 - 9 コミュニティセンターぶどうの木(こなた)
- 生活介護(障害者施設)**
 - 10 ケアセンターかたくりの花
 - 11 ケアセンター野ばら
 - 12 ケアセンター花もも
 - 13 ケアセンターマーガレット
- 就労継続支援事業所(障害者作業所)**
 - 14 ワークセンターカサブランカ(A型)※1
 - 15 ワークセンターコスモス(B型)※1
 - 16 ワークセンターなのはな(B型)
 - 17 ワークセンターあさがお(B型)
 - 18 ワークセンターやまばと(B型)
 - 19 ワークセンター希望の家(B型・主)※2
 - 20 ワークセンターふれあい(Ⅱ・従)※2
 - 21 ワークセンターさくら(B型)
- 地域活動支援センター**
 - 22 レタスクラブ(ひきこもりがちな人への居場所)



- 訪問介護事業所**
 - 23 ライフサポートさぶらん
- 居宅介護支援事業所(ケアプラン作成)**
 - 24 居宅介護支援事業所シャローム
- 相談・調整・権利擁護など**
 - 25 牧之原地域包括支援センターオリブ(高齢者)
 - 26 生活支援センターやまばと(障害者)

- 共同生活援助(障害者グループホーム)**
 - 27 みざわ
 - 28 もくれん 従※2
 - 29 わかば 主※2

- 保険医療機関**
 - 30 やまばと診療所

※1 A型は一般企業就労を目指す作業所
B型は大半の人がここで働き続け、賃金を得ています。
※2 主は「主たる事業所」、従は「従たる事業所」の意味

歩みのあと

(三月日く四月二十日)

●全体的なこと
3/16第6回理事会。最終予算、年度予算、事業計画。4/1新入職員オリエンテーション。4/20新年度研修。基調講演は潮谷義子先生。4/22新人管理者研修。4/22業務監査(松浦監事)。各事業所で健康診断。

●個別のコース
【法人】3/4理事長「宣教方策会議」参加。3/8「ミヤノ」人特定技能生「メロ」面接。3/11聖隷クリスストファ大学企業説明会。3/28相良高校企業説明会。4/4垂穂寮風箏トイレ改修工事入札。(株)山田組落札。4/23理事、日キ社、同社会委員会。4/26理事、中静分区分会議参加。

【垂穂寮】3/10遊びりデモン。3/15民生委員の皆様による花植えや掃除。4/14掛川城公園へ。3/28お楽しみ会、モスナーガーを頂く。【みざわ】3/10避難訓練。4/1定員を15名から10名へ変更。

【やまばと希望寮】3/7コロナクラス5/1利用。3/16後期個別面談。4/5「生活支援センター」4/19月採用職員が異動し、社会福祉士の相談員着任。【わかば】3/10スライッ作り。4/24「もくれん」3/3、4/7吉田港海岸清掃。3/9焼き鳥を楽しむ。【花もも】3/113種類のデザートバイキングに大満足。【かたくりの花】3/1ひな祭り。つるし雛と雛ケーキ。4/26手打ちそばの会。【マーガレット】3/1ひなまつり。パネル撮影大会と紙芝居。4/19吉田公園散策とレクリエーション。【カサブランカ】3/6健康づくり課腰痛予防、食生活の講座。4/20利用者11名、新年度研修にリモテで参加発表。【コスモス】3/8健康づくり課歯磨き指導。4/2地震、火災想定消防署通報訓練。【なのはな】3/11電車とバスで焼津イオン。3/29調理実習「お疲れ様会」。4/19保護者連絡会。4/25横井町クレーン作戦。3/28昼食会と静岡名産品で旅行気分。4/26水消火器で消火訓練。

☆今年の桜の開花は遅く、入学式に満開。一方、暑さは早くも真夏なみ。熱中症に気を付けましょう。

【ふれあい】3/15交通安全教室。3/21近隣34軒に日頃の感謝を伝える。4/1春の陽気の中お花見。【あさがお】3/20年度末慰労お楽しみ会。ビンゴゲームと食事も。4/26交通安全教室。【やまばと】3/3フナタしまに「出店」3/28「メロ」設置。【さくら】3/13年度末恒例ボリリング大会。4月内は作業中心の例課。【レタスクラブ】3/11湯日川土手清掃活動。空き缶等の回収。4/16インゲン豆種まき。【聖ルカホーム】3月、坂部の河津桜祭りへ。4月、吉田公園テニール祭りへ。【グレイス】3/25日赤奉仕団様による草取り。3/27相良高校生インターンシップ。4/18バスアンサンブル様による演奏慰問。【相寿園】4月付、松田正幸から柴田慎也へ施設長交代。【さくらんぼ】3/31島田市指定管理委託2期10年を終了。次期管理者への引継ぎ。3/26閉所式。【真葉】3/3牧之原市介護者のつどい。3/4、4/18百歳のお祝い。4/1真葉創立25周年。4/19林泉寺長藤見学。

【さずらん】3/18折り紙チアリーッ作り。4/4「O様」99歳誕生日に職員手作り紅白饅頭提供。4/1213生地でカーネーション作り。【さくらんぼ】御前崎市総合事業の指定廃止。牧之原市、吉田町、島田市指定更新。【シャローム】3/7主任ケアマネ主催講演会開催。講演者は岩切医師。3/15後期特定事業所集中減算届出書提出減算なし。【オリブ】4/1新施設長に松田正幸。他に新しく3名着任。職員「丸」となて前を向き書き出す。【ぶどうの木】3/12、4/9婦交さん講話。3/22あじさい会。踊りの慰問。4/22、26東光寺の長藤を見ながら帰宅。あとがき
☆表紙の写真は「コミュニティセンターぶどうの木」のご利用者。九十歳になられます。積極的に介護予防に取り組み、健康を維持されてます。【I】